

ESI 第 28 回 火力原子力発電技術協会 合同シンポジウム

カーボンニュートラル時代の電力システムと火力発電の役割

共同主催：東京大学生産技術研究所 エネルギーシステムインテグレーション社会連携研究部門
(一社)火力原子力発電技術協会

共催： 東京大学先端電力エネルギー・環境技術教育研究アライアンス (APET)
東京大学エネルギー・資源フロンティアセンター (FRCER)
東京大学生産技術研究所 持続型材料エネルギーインテグレーション研究センター

〇目的

第 7 次エネルギー基本計画では、カーボンニュートラルの実現に向けて再生可能エネルギーの主力電源化が掲げられている。一方で、太陽光発電や風力発電などの変動性再生可能エネルギーの導入拡大に伴い、電力需給バランスの維持や系統安定性の確保、さらには紛争下での化石燃料の不足・高騰、経済安全保障といった新たな課題への対応が求められている。

このような状況の下、将来の電力システムにおいては、再生可能エネルギーを最大限活用しつつ、安定供給、経済性および環境適合性を同時に実現するため、火力発電には需給調整力や供給信頼度確保に加え、交流システムの安定性確保など様々な役割が期待されており、再生可能エネルギーとの協調・補完による電力システム全体の設備形成と運用の最適化が求められている。

本シンポジウムでは、カーボンニュートラル時代の電力システムと火力発電のあるべき姿について、安定かつ経済的な電力供給の実現に資する知見の共有と課題解決の方向性を探ることを目的とする。

〇シンポジウム

【日時】2026 年 11 月 27 日 (金) 13:20-17:30

【方式】対面と WEB のハイブリッド

【場所】東京大学 駒場リサーチキャンパス An 棟 コンベンションホール

【費用】無料

【定員】コンベンションホール 200 名、Web500 名

〇意見交換会

【時間】18:00～19:30

【方式】立食パーティー

【場所】同キャンパス内 An 棟 1 階レストラン「ape アーペ」

【費用】税込 5,000 円程度

【定員】50 名

○講演内容

・開会あいさつ/火力発電の役割

東京大学 生産技術研究所

特任教授 荻本 和彦

・電力市場、GX-ETS と火力発電

公益財団法人地球環境産業技術研究機構 システム研究グループ

グループリーダー・主席研究員 秋元 圭吾

・火力発電を巡る電力市場の動向と課題

東京大学大学院工学系研究科 レジリエンス工学センター

教授 小宮山 涼一

・九州エリアにおける火力発電設備の運用状況等について

九州電力株式会社 執行役員 エネルギーサービス事業統括本部

火力発電本部長 曾里田 幸典

・火力発電のポテンシャルと貢献可能性

東京大学 生産技術研究所

研究顧問 金子 祥三

・石炭火力の役割と画期的な低炭素化技術

一般財団法人 電力中央研究所 エネルギートランスフォーメーション研究本部

エネルギー化学研究部門長 研究参事 梶谷 史朗

・インドネシアの再エネ導入と電力系統安定化

東電設計株式会社 エナジーソリューション本部 新規開発部 課長

スラヤ火力建設事務所 所長 吉田 勝彦

・閉会の挨拶

一般社団法人 火力原子力発電技術協会

専務理事 増川 浩章

10 月上旬に両 HP にて参加募集を行いますので、多くみなさまのご参加をお待ちしております。